

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年2月8日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東  
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大島 洋子 TEL 03-5778-7777 (代)  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	41,000	△33.6	4,253	△59.7	5,061	△55.5	4,104	△68.3
2020年3月期第3四半期	61,738	11.6	10,548	△3.7	11,376	△4.0	12,945	46.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 6,072百万円(△56.4%) 2020年3月期第3四半期 13,931百万円(186.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	67.08	66.45
2020年3月期第3四半期	173.97	164.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	291,685	266,655	90.8
2020年3月期	325,232	269,521	82.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 264,888百万円 2020年3月期 267,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	75.00	-	75.00	150.00
2021年3月期	-	75.00	-		
2021年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,500	△6.3	8,000	△36.3	8,700	△35.4	6,200	△52.5	101.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	69,597,500株	2020年3月期	69,597,500株
2021年3月期3Q	8,412,290株	2020年3月期	8,427,105株
2021年3月期3Q	61,180,978株	2020年3月期3Q	74,409,739株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が停滞し、極めて厳しい状況となったものの、2020年5月の緊急事態宣言解除後、徐々に経済活動が再開され、持ち直しの動きを見せておりました。しかしながら、2020年末から感染者が増加し、2021年に入り緊急事態宣言が再発令されるなど、今後の新型コロナウイルス感染症の状況次第では、国内外経済を下振れさせる可能性があり、経済の先行きは予断を許さない状況となっております。

当パチンコ・パチスロ業界では、パーラーの稼働状況は緊急事態宣言が解除された5月を底として回復傾向にあるものの、感染症拡大前の水準には戻っておらず、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、本格的な回復にしばらく時間を要することが考えられます。遊技機の販売状況につきましては、パーラーの全国的な休業により一時的に停滞しておりましたが、遊技機規則の改正に伴う旧規則機の設置期限が1年を切り、新規則機への入替を急ぐ必要性に迫られております。このような状況下、パチンコにつきましては、メーカーの商品ラインナップが充実してきており、2020年10-12月の市場全体の販売台数は前年を上回る水準まで回復しております。一方、新規則機の適合が少なく、販売市場が停滞しているパチスロにつきましては、メーカーの新規則機開発ノウハウの高まりにより、徐々に適合機種数が増加しており、今後の入替需要にあわせ、需要の盛り上がりが見込まれます。

当社グループでは、当第3四半期連結累計期間におきましては、パチンコ機5タイトル（リユース機を除く）、パチスロ機1タイトルを発売いたしました。第2四半期までは、コロナ禍によるパーラーの新機種購買意欲を見極めたうえで販売タイトル数を絞ったものの、第3四半期以降は、入替需要に対応すべく、新機種の投入を加速させております。パチンコでは、新たなゲーム性である「遊タイム」を搭載した商品を積極的に投入し、パーラーの需要を喚起いたしました。

以上の結果、売上高410億円（前年同四半期比33.6%減）、営業利益42億円（同59.7%減）、経常利益50億円（同55.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益41億円（同68.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高370億円（前年同四半期比22.0%減）、営業利益97億円（同16.5%減）、販売台数86千台（前年同四半期は116千台）となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア2」（2020年4月）、「フィーバーゴルゴ13 疾風ver.」（2020年10月）、JBブランドの「フィーバークィーンII」（2020年10月）であります。

#### (パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高16億円（前年同四半期比82.2%減）、営業損失21億円（前年同四半期は24億円の営業利益）、販売台数は4千台（前年同四半期は23千台）となりました。

販売タイトルは、Bistyブランドの「シャア専用パチスロ 逆襲の赤い彗星」（2020年8月）の1タイトルであります。

#### (補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高20億円（前年同四半期比51.1%減）、営業損失52百万円（前年同四半期は2億円の営業利益）となりました。

#### (その他)

その他につきましては、売上高2億円（前年同四半期比58.1%減）、営業利益21百万円（前年同四半期は1億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は2,916億円であり、前連結会計年度末と比べ335億円減少しました。これは主に、現金及び預金が167億円、受取手形及び売掛金が71億円、有価証券が49億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」を含む）が23億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は250億円であり、前連結会計年度末と比べ306億円減少しました。これは主に、1年内償還予定の新株予約権付社債が200億円、支払手形及び買掛金が72億円、電子記録債務が27億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ28億円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を41億円計上、その他有価証券評価差額金が19億円増加した一方、配当金の支払い91億円によるものであります。この結果、純資産は2,666億円となり、自己資本比率は8.4ポイント増加し、90.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による市場環境の変化等により、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。今後、業績予想に変更が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	122,847	106,054
受取手形及び売掛金	16,743	9,630
有価証券	119,999	114,999
商品及び製品	2,060	1,846
仕掛品	21	—
原材料及び貯蔵品	3,701	3,576
その他	10,669	6,991
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	276,041	243,098
固定資産		
有形固定資産	27,244	26,441
無形固定資産		
その他	142	106
無形固定資産合計	142	106
投資その他の資産		
投資有価証券	13,035	14,727
その他	8,785	7,327
貸倒引当金	△17	△15
投資その他の資産合計	21,803	22,038
固定資産合計	49,190	48,587
資産合計	325,232	291,685
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,789	6,561
電子記録債務	7,637	4,897
1年内償還予定の新株予約権付社債	20,006	—
未払法人税等	1,043	290
賞与引当金	765	387
株主優待引当金	101	101
その他	3,880	4,168
流動負債合計	47,224	16,406
固定負債		
退職給付に係る負債	4,962	5,131
資産除去債務	75	75
その他	3,448	3,416
固定負債合計	8,486	8,623
負債合計	55,711	25,030

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	257,575	252,493
自己株式	△31,822	△31,766
株主資本合計	264,343	259,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,549	5,529
退職給付に係る調整累計額	53	41
その他の包括利益累計額合計	3,603	5,571
新株予約権	1,574	1,767
純資産合計	269,521	266,655
負債純資産合計	325,232	291,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	61,738	41,000
売上原価	28,409	19,428
売上総利益	33,329	21,572
販売費及び一般管理費	22,780	17,319
営業利益	10,548	4,253
営業外収益		
受取利息	135	92
受取配当金	569	550
その他	146	174
営業外収益合計	851	816
営業外費用		
投資事業組合運用損	19	2
その他	2	5
営業外費用合計	22	8
経常利益	11,376	5,061
特別利益		
固定資産売却益	4	—
投資有価証券売却益	66	290
関係会社株式売却益	3,558	—
特別利益合計	3,628	290
特別損失		
固定資産売却損	8	—
固定資産廃棄損	179	21
投資有価証券売却損	135	—
関係会社株式売却損	218	16
特別損失合計	541	37
税金等調整前四半期純利益	14,464	5,314
法人税、住民税及び事業税	876	536
法人税等調整額	642	672
法人税等合計	1,518	1,209
四半期純利益	12,945	4,104
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,945	4,104

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	12,945	4,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	993	1,980
退職給付に係る調整額	△7	△11
その他の包括利益合計	985	1,968
四半期包括利益	13,931	6,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,931	6,072
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,525	9,545	4,186	61,258	479	61,738	—	61,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	47,525	9,545	4,186	61,258	479	61,738	—	61,738
セグメント利益 又は損失(△)	11,738	2,401	235	14,375	△149	14,226	△3,677	10,548

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,052	1,698	2,049	40,800	200	41,000	—	41,000
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	37,052	1,698	2,049	40,800	200	41,000	—	41,000
セグメント利益 又は損失(△)	9,799	△2,157	△52	7,588	21	7,609	△3,356	4,253

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。